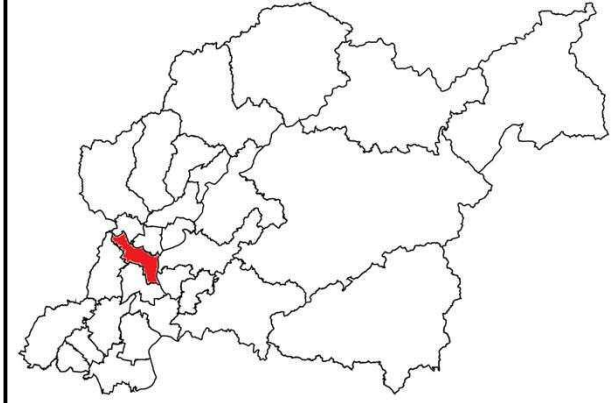


崇化館地域

地域概要 (地域の構造)

基礎データ (平成30年4月1日現在)

【位置図】



【地域特性】

崇化館地域は、古事記の時代には既に衣の里と呼ばれていた。江戸時代には拳母藩が置かれており、朝日丘地域に拳母城が築かれ藩庁機能が移転するまでは、藩主の陣屋が置かれ藩政の中心地となっていた。名鉄三河線豊田市駅が開業してからは、豊田市の玄関口となっており、中心市街地として都市化が進んでいる。一方で、拳母神社の例大祭である拳母まつりなどの伝統・文化を重んじる風土が残っている。

市役所を始めとした公共機関や公共交通、商業店舗が充実しており、日常生活の利便性が高い。

面積	6.96 km ² (0.8%) [市 918.32 km ²]
人口密度	3,698 人/km ² (800.5%) [市 462 人/km ²]
人口	25,740 人 (6.1%) [市 424,500 人]
男性	13,457 人 (6.1%) [市 221,768 人]
女性	12,283 人 (6.1%) [市 202,732 人]
うち外国人人口	1,324 人 (8.1%) [市 16,327 人]
世帯数	12,068 世帯 (6.8%) [市 178,410 世帯]
平均年齢	42.71 歳 (△0.0歳) [市 42.73 歳]

■人口

【年齢4区分別人口の推移】 (単位: 人、%)

	H25	H30	増減数	増減率
合計	24,853	25,740	887	3.6
0~14歳	3,421	3,369	△ 52	△ 1.5
15~64歳	16,866	17,038	172	1.0
65歳~	4,566	5,333	767	16.8
75歳~ (再掲)	1,940	2,496	556	28.7
高齢化率	18.37	20.72	2.35	12.77

■自治区データ

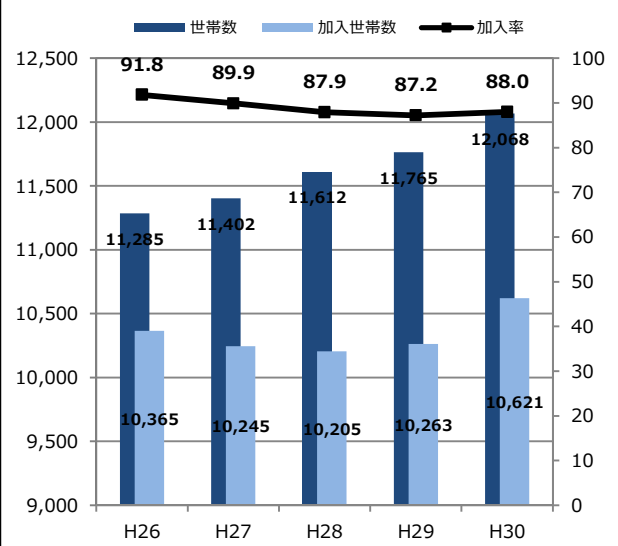
【自治区一覧】

自治区名	世帯数	自治区名	世帯数	自治区名	世帯数
一区	1,760	平芝前	195		
二区東部	432	陣中町	700		
二区西部	544	栄町	750		
三区	733	西山	1,787		
東区	1,048				
中区	330				
西区	1,398				
平芝	944				

【自治区加入率】

加入率	88.0 %	加入世帯数	10,621 世帯
[市 80.9 %]		住基世帯数	12,068 世帯

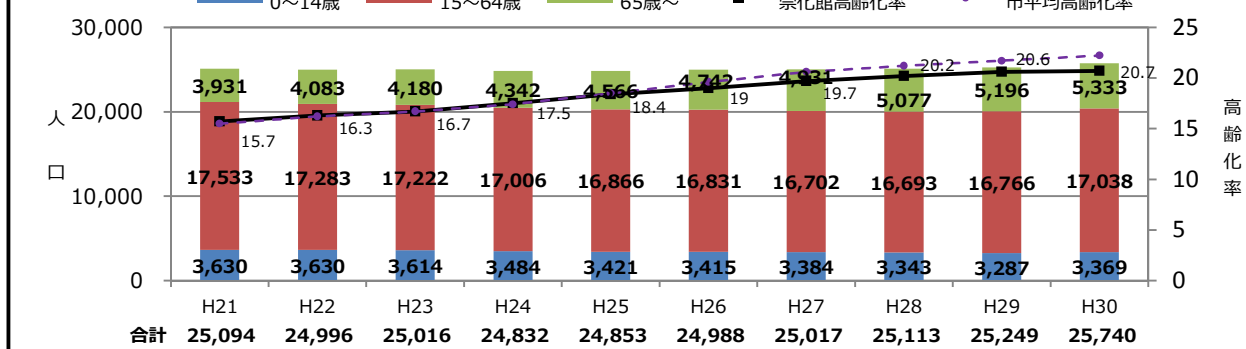
【自治区加入率推移】 (単位: 世帯、%)



【人口動態】 (単位: 人)

	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
合計	135	29	96	136	491
自然増減	56	35	42	31	49
社会増減	79	△ 6	54	105	442

【人口推移】



地域自治

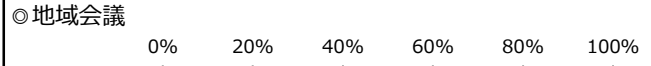
出典: H29地域自治システム評価アンケート

【地域課題】 (地域の課題認識が高い順) (単位: %)

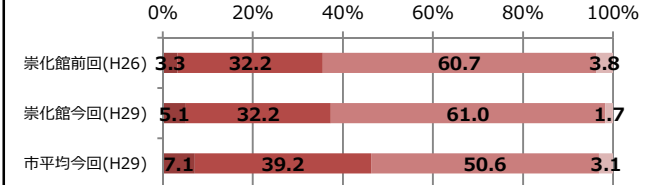
課題・問題点の項目	崇化館	豊田市	差
医療の充実	56.5	47.2	9.3
交通安全対策の推進	56.5	53.9	2.6
買い物の不便の解消	49.2	43.8	5.4
防災対策の充実	48.6	36.8	11.8
生活道路・交通をスムーズにすること	48.6	45.4	3.2
公共交通機関の充実	46.4	44.3	2.1
広場、公園などの施設の整備	41.9	39.5	2.4
子育ての支援の充実	41.8	38.1	3.7
防犯対策の強化	41.3	40.5	0.8
郷土の歴史・伝統・文化の保存と再生	40.7	32.0	8.7
高齢者の生きがいづくりの場などの充実	40.1	38.0	2.1
市街地の活性化と魅力づくりの推進	38.9	31.3	7.6
豊かな自然環境の保全	35.6	40.3	△ 4.7
福祉対策の充実	34.4	31.8	2.6
住民同士の交流の場や機会の拡充	33.9	34.2	△ 0.3
空き家や耕作放棄地の対策の強化	32.8	32.8	0.0
若年層の定住促進策の拡充	29.9	33.6	△ 3.7
観光によるまちづくりの推進	27.1	18.9	8.2
近所での働き口の創出	26.0	25.8	0.2
鳥獣害対策の強化	25.4	28.9	△ 3.5
農業・農地を保全すること	17.5	26.2	△ 8.7

【地域自治システム認知度】

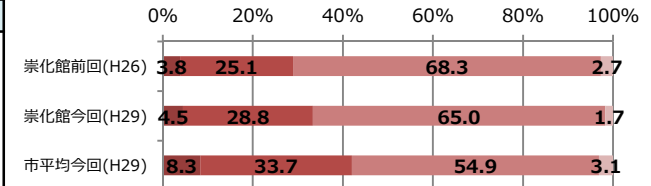
※「思う」「どちらかといえば思う」の合計



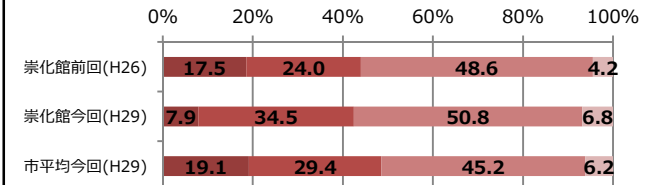
◎地域会議



◎地域のわくわく事業



◎地域の地域予算提案事業



【コメント (地域概要)】

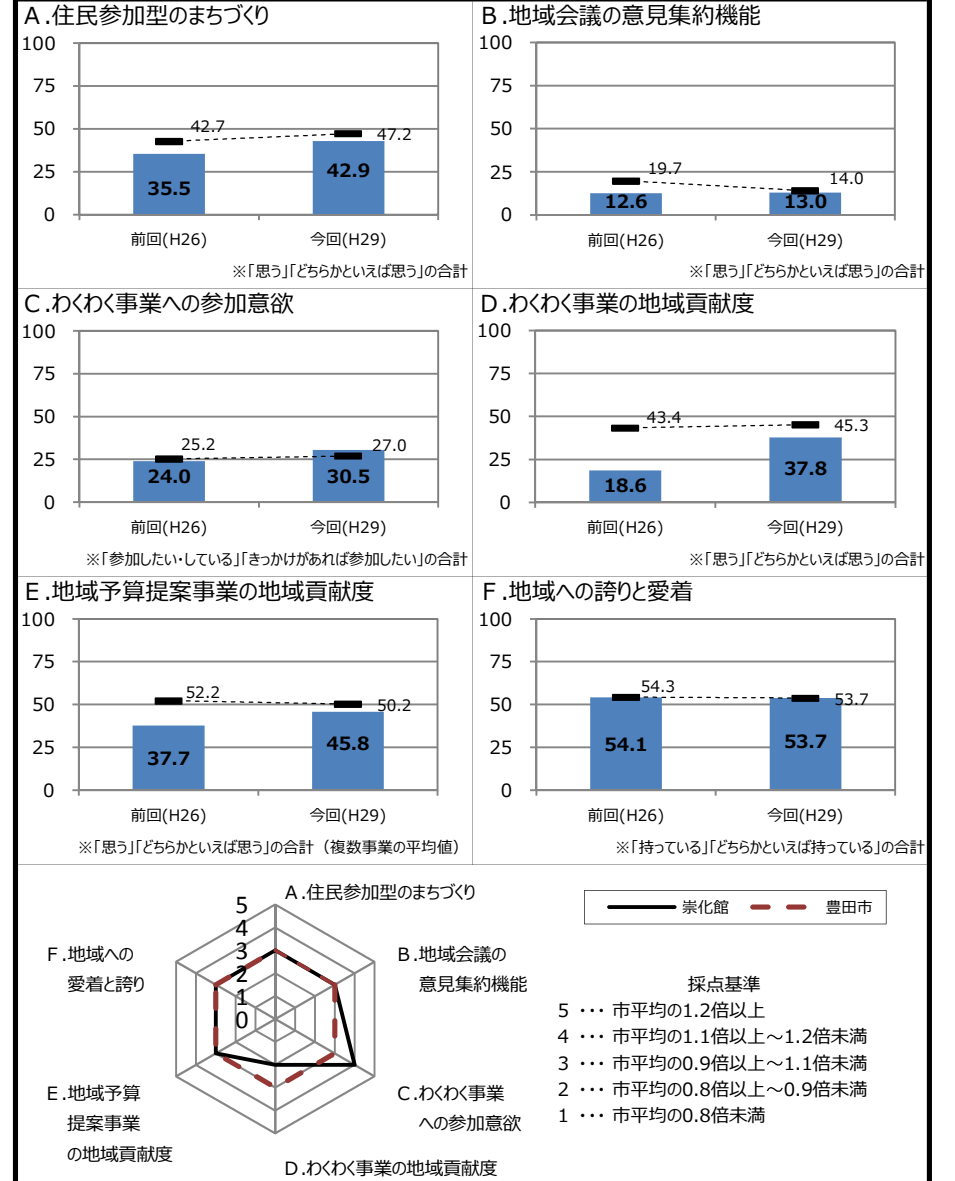
人口は横ばいだが、世帯数が毎年増加している。自治区加入率は市平均より7ポイント程高く、ここ数年は横ばいで推移している。地域自治システムの認知度はいずれも全市平均を下回る。地域課題は「医療の充実」「交通安全対策の推進」「買い物の不便の解消」が挙げられ、より快適な生活の実現を望む傾向が強い。

自治力見える化カルテ (1 / 2)

意識 (アンケートから診る意識面の自治力)

出典: 地域自治システム評価アンケート

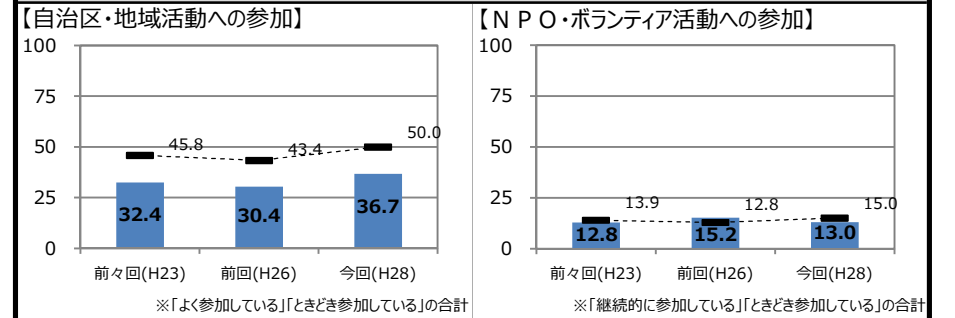
意識面自治力の推移 (レーダーチャート)



行動1 (アンケートから診る行動面の自治力)

出典: 市民意識調査

行動面自治力の推移



【コメント (意識及び行動1)】

意識面についてはいずれも、平成26年度の前回調査時と比較し、上昇または横ばいとなった。また「わくわく事業への参加意欲」は市平均を上回った。実際の活動への参加状況については、「自治区・地域活動」は市平均との比較では下回るものの、崇化館地域としては微増に転じている。一方「NPO・ボランティア活動」については、横ばいで推移している。

自治力見える化カルテ（2 / 2）

行動2（分野別取組から診る行動面の自治力）

健康	交流館自主グループ	8 団体	わくわく事業関連団体	1 団体	福祉	交流館自主グループ	2 団体	わくわく事業関連団体	団体
	スポーツ推進委員	5 名	ヘルスサポートリーダー	10 名		民生委員児童委員	29 名	お元気ですかボランティア	10 名
観光・産業	高齢者クラブ	11 団体	その他団体	団体	伝統・文化	ささえあいネット	84 団体	その他団体	団体
	活動例：【ヘルスサポートリーダー】	地域住民の健康づくりのための講座やイベントでの啓発など地域にねざした活動を行っている。		福祉		活動例：【民生委員】	自治区と連携しながら、ひとり暮らし高齢者等に声かけや訪問を行っている。ひまわり亭包括支援センターと協力し、徘徊老人の捜索訓練等もを行っている。過去にはわくわく事業を活用し、高齢者等見守りの必要な世帯に対し、救急医療情報キットの展開を行った。		
環境・景観	【地区コミュニティ会議】	わくわく事業を活用し、地域の健康づくり事業を行っている。			伝統・文化	コメント：民生委員が地域福祉の中心を担う。人口が多く災害時要支援者への対応が難しい。			
	コメント：			安全・安心		交流館自主グループ	50 団体	わくわく事業関連団体	1 団体
子どもの健全育成	その他団体	団体	－		安全・安心	その他団体	団体	－	
	－	－	－	活動例：【雅豊会木目込み】		木目込み人形の作成を行っているサークルであるが、年に1回程度子どもたちを対象として体験会を行い、文化を伝える活動もしている。			
子ども	交流館自主グループ	団体	わくわく事業関連団体	2 団体	安全・安心	【拳母まつり関連団体】	10月第3日曜に実施される拳母まつりに関連する取組が行われている。		
	主任児童委員	3 名	放課後児童クラブ	3 団体		コメント：拳母まつりのお膝元であることから、まつり文化の伝統・文化継承に対する意識が強い。			
その他1	その他団体	団体	－	安全・安心	交流館自主グループ	団体	わくわく事業関連団体	団体	
	活動例：	農業用ため池「やつば池」の周回路を整備する団体。整備された周回路を活用して、ウォーキングなど健康づくりのイベントを開催するなど、単に整備するに留まらない活動を行っている。			安全・安心	自主防犯団体	18 団体	自主防災会	12 団体
その他2	コメント：			安全・安心		消防団	22 名	その他団体	団体
	コメント：				自治振興	活動例：【防犯パトロール】	各自治区における自主防犯団体が自主的にパトロールを行っている。		
その他1	【	】		自治振興		【防災訓練】	各自主防災会が中心となり、小学校等で避難所の設営訓練などを実施している。		
	コメント：				自治振興	コメント：平地と高台地域との間で、水害に対する意識のギャップがある。			
その他2	【	】		自治振興		交流館自主グループ	3 団体	わくわく事業関連団体	2 団体
	コメント：				自治振興	その他団体	団体	－	
その他1	【	】		自治振興		－	－	－	
	コメント：				自治振興	活動例：【toyotaまるごとおせっかい】	地域の活性化を目指し、中心市街地を訪れた外国人に対して、観光案内等を実施している。		
その他2	【	】		自治振興		コメント：			
	コメント：				自治振興	コメント：			

【コメント（行動2）】
 地域活動は自治区を中心として、小学校区、中学校区との連携も積極的に実施されている。交流館の自主グループは、趣味的活動のものがほとんどである。交流館の利用人数は年間のべ15万人(5位/28地域)と多数の利用がされているが、中心市街地で好立地のため崇化館地域住民の利用よりも地域外住民の利用の方が多。また、グループの活動者は年々高齢化しており、今後も地域活動を積極的に展開していくためには、地域活動に参加していない世帯や、新しく転入してくる世帯に対し地域活動への参加を働きかける取組が必要である。

行動3（事業の展開から診る行動面の自治力）

【わくわく事業実績】											
事業分類	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	
①保健、医療、福祉の推進			1		1	2	2	1	1	1	
②地域の伝統、文化、郷土芸能又はスポーツの振興	5	1	3	3	4	1		1	2	1	
③安心・安全な地域づくり	1	1	1	2	2	2					
④地域の生活環境改善、景観づくり 自然環境保全		9	2	2	3	3	3	3	3	2	
⑤子どもの健全育成	3	3	4	1	3						
⑥地域の特性を生かした産業振興		1							1	1	
⑦地域づくりに有効な助言や提案を受けるための事業											
⑧その他個性豊かな住みよい地域社会を構築するための事業				1		1				2	
事業件数（件）	9	15	11	9	13	9	5	5	7	7	
実績額（千円）	3,750	2,110	3,094	1,620	2,370	1,428	530	584	1,486	2,399	
※H30は、平成30年7月31日現在											
【地域予算提案事業実績】											
事業名	事業分類	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
あいさつや声かけによる、ふれあい豊かな地域づくり事業	防犯対策		1,553	1,838	1,063	1,652	970	823			
安全・安心な生活づくり事業（防犯）	防犯対策								596	99	231
安全・安心な生活づくり事業（防災）	防災対策								172	3,855	716
実績額（千円）											
			1,553	1,838	1,063	1,652	970	823	768	3,954	947
※H30は当初予算額											

【コメント（行動3）】
 わくわく事業では、ここ数年はまちのにぎわいづくりを目指す事業が増えている。一方全体の事業件数は、ここ数年過去の平均件数を下回っている。引き続き、新規の担い手発掘に取り組んでいく必要があると考えられる。
 地域予算提案事業では、長く「あいさつ運動」が実施され、平成28年度からは防犯や防災対策事業が展開されている。特に防災分野では、住民参加の下で地区版避難所運営マニュアルを作成する等、地域内の連携を高める取組が行われている。

総評

崇化館地域は、自治区加入率が市平均より高く、自治区を中心とした地域活動が盛んに行われてきた。
 地域会議では、近所付き合いの活性化を目指して、長く「あいさつ運動」を展開してきた。平成28年からは地域住民の安全安心な生活の実現を目指して、防犯・防災に取り組んでいる。特に防災分野では、住民参加の下で地区版避難所運営マニュアルを作成する等、地域内の連携を高める取組が行われている。
 自治区やわくわく事業など、地域の自主的な活動に取り組む団体は高齢化が進んでいる。「わくわく事業への参加意欲」や、自治区加入率に対する自治区活動への参加状況を見ると、地域活動に対する意欲・興味を持つ住民がいながら、実際の行動には結びついていないことが考えられる。意欲を持つ住民に対してアプローチを行い、新しい活動の担い手（若い世代）を創出していくことで、地域活動の持続を図っていく必要がある。